

# 甲子園準V 三重高の今井投手

## 地元・豊田で後輩激励

第九十六回全国高校野球選手権大会で準優勝（県代表）のエースで、



中学時代に所属した「豊田リトルシニア」の選手を激励する今井重太郎投手（左）＝豊田市浄水町で

豊田市出身の今井重太郎投手（三年）が十三日、中学時代に所属した故郷の硬式野球チーム「豊田リトルシニア」を訪ねた。チーム関係者から祝福を受け、自身も後輩たちへエールを送った。

チームを訪ねるのは大会後初めて。豊田市浄水町のグラウンドで中学三年の選手たちの卒団式があり、OBとして招かれた。式典後、後輩たちに囲まれた今井投手は、投球を磨く方法を問われ、

「捕手を信じてミットへ思い切り投げよう」とにこやかに答えていた。

今井投手は豊田市の青木小、猿投台中卒。小学時代は地元少年チーム「青木グレート」に、中学三年間は豊田リトルシニアに所属し

グエルサウオーク西尾店  
アピタ安城南店  
茶 南山園

た。今夏の甲子園では決勝まで全六試合に先発し、左腕から繰り出す鋭いスライダーを武器に躍進を支えた。

豊田リトルシニアの小林晋也監督（五）によると、今井投手は中学時代、全国大会とは无缘だったという。「チームに来たころは体が

小さくて普通の子という印象だったが、よく成長してくれた」とたたえた。

今井投手と握手を交わした同じ投手の中学

二年水谷昂正君（四）は「ずっと応援していた人だから緊張した。投げ方すべてがお手本になります」と感激した。（河北彬光）